



豊中市教育センター

〒560-0033 豊中市蛍池中町 3-2-1-600

TEL 06-6844-5290

FAX 06-6840-8127

平成25年(2013年)3月22日 第57号

ありがとうの数だけ

ドライブスルーに寄った。行き届いた社員教育とはいえ、気持ちの良い声で、「ありがとうございます」と、笑顔とともに、注文品が出てきた。その爽やかさにつられ、自然と「ありがとう」のことばがでた。

今日はどんな日だったか、慌ただしい一日を振り返るとき、「ありがとう」を何度使ったか、逆に何度言われたか、そんなことをものさしにして振り返ってみるのはどうだろう。「ありがとう」の数だけ、人は人とながり、人は人として輝いているのではないだろうか。

看護の現場で働く卒業生（看護師）は、患者さんから「ありがとう」と言われると、頼られていると実感し、自分を肯定し、安定した気持ちになって、仕事へのモチベーションがあがる。また少し高度な看護技術にも積極的に取り組める、のだという。

ドナルド・ショーン氏（1931-1997）は、看護師、福祉士などクライアントが直面する問題に自らの領域を越えて立ち向かう専門家を「反省的实践家」と呼んでいる。教師も、この「反省的实践家」の類に入っている。学校にいれば、問題が解決できたとき、「ありがとう」このひと言で、どんな苦労も吹っ飛んでしまった経験はあるだろう。

今年度も、もうすぐ終わりだ。日ごろ忙しくて、「ありがとう」を伝え忘れていた相手はいないだろうか。相手の厚意が当たり前ようになって、「ありがとう」を伝えきれていないことはないだろうか。

自分のまわりをそっと見回し、関わった人たちの顔を思い浮かべてみる。みんな輝いているだろうか。

新年度、自らも素敵に輝いて迎えたいものである。



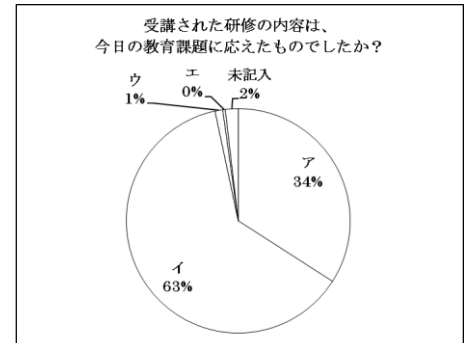
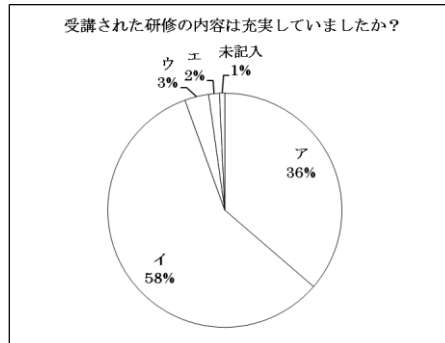
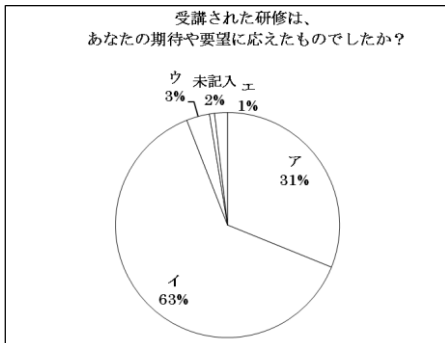
平成 25 年度（2013 年度）の研究・研修にむけて

～今年度の市実施研修のアンケートから～



平成 24 年度（2012 年度）の市実施研修が終了しました。

研修実施時の『研修についてのアンケート』から、以下のような結果があらわれています。



ア. 強く思う イ. 思う ウ. 思わない エ. 全く思わない

今年度は、教科領域別研修を充実させたり、豊能地区で研修を交流し合うなど、研修の質をいかに確保するか工夫を重ねて実施してきました。また、募集案内を月ごとにまとめ、掲示用の A3 版の実施予定一覧を発行するなど、研修参加に関わる事務作業が少しでもスムーズに運ぶように改善も重ねました。

参加者の方からはおおむね高い評価をいただき、研修について新たなステージを踏み出したこの 1 年としては、大きな成果があったととらえています。しかし、今年度の成果に 100% 満足するのではなく、次年度はさらに充実した研修を実施していきたいと考えています。また、研究の分野では、「知識・技能の習得から思考力・判断力・表現力の育成に向けて～言語活動を基盤においた取組みの推進～」として、「確かな学力」の向上についてテーマを設定し、進めていく予定です。

今年も、長年この豊中市の教育にご尽力いただいたたくさんの先輩方が『卒業』され、平成 25 年度（2013 年）は、新たに約 122 名の初任者、新規採用事務職員・養護教諭・栄養教諭のみなさんをお迎えする予定です。豊中市で教育に携わる方々に大切に培われ、これからも引き継いでいきたい『不易』、そして刻々と移りゆく今日の教育課題に対応するための『流行』、その二つのどちらをもゆるがない柱として据え、豊中市の研究・研修の取組みを進めていきます。

「確かな学びを豊かな学びへ！」 来年度も、教育センターをぜひご活用ください！



夏季教職員研修、ご期待ください！

平成 25 年度（2013 年度）の『夏季教職員研修』が以下のとおり決まりました。

◆日 時：8月9日（金）10：00～11：30 ◆会 場：アクア文化ホール

◆講 師：道浦 母都子^{もとこ}さん（歌人） ◆テーマ：『たましいを運ぶ舟～今伝えたい言葉の力～』

道浦先生は、豊中にゆかりのある方であり、今回豊中市で採択している中学校国語（東京書籍・2年生）の教科書には『短歌を楽しむ』という書き下ろしの観賞文が掲載されています。その中に「短歌は、人や自然との一瞬の出会いを半永久的なものにしてくれるふしぎな力を持つ言葉の器（形式）」という表現があります。言葉の大切さ、温かさをいま一度見つめ直し、教育のあり方をみんなで考えることができるような機会になれば、と考えて企画を進めています。どうぞふるってご参加ください。



サイエンスフェスティバルを開催しました！

2月9日（土）に蛍池ルシオーレビル（教育センター、蛍池公民館、ルシオーレホール）で第8回サイエンスフェスティバルを開催しました。約670人の市民が、サイエンスクラブによるそれぞれに工夫されたブースやサイエンスショーを楽しみました。

豊中市内の小中学校からは東丘小学校科学クラブ、第三中学校理科部、第十一中学校と第十四中学校の自然科学部のみなさんがブースを開いてくれました。



また、今年度から理科の自由研究で表彰を受けた作品について、作者による作品説明も行いました。6名の児童・生徒が説明員となり、自分の理科の自由研究について、来場者に説明しました。聞いている人にわかりやすく伝えるのは難しいことですが、どの子も一生懸命に説明する姿に感心させられました。



南部陽一郎賞は、このサイエンスフェスティバルにおいて、市民、とりわけ子どもたちに最も科学のよさや有用性をアピールした出展団体に対して贈られるものです。第2回となる今回は、大阪府立春日丘高等学校「定時制の課程 科学部」が受賞しました。「微小重力をつくろう」をテーマに地上に宇宙ステーションと同じ微小重力空間を作りだし、無重力の世界を来場者にわかりやすく表現したことが受賞につながりました。

今年度は、小・中学校、高校、大学から合計17団体がブースを出展しました。来場した子どもたちも存分に楽しみ、科学を身近に体験することができました。



スマートフォンからの個人情報の流出にご注意ください。



近年、スマートフォンの普及に伴いチャットや無料通話ができるアプリの利用が急速に広まっています。多くのアプリは会員として登録する際に、スマートフォン内の電話帳のデータを利用することを求めてきます。これを許諾すると電話帳のデータのコピーが運営会社のサーバに転送され、他のユーザーのものと照合し、お互いの電話帳に登録しているユーザーどうしを「友だち」として端末に表示させるために使われます。会員規約をよくご確認ください、自分のスマートフォンの電話帳のデータがそのように使われても問題がないかどうか、十分にご留意ください。

また、その他にもゲームなどを装ってユーザーが気づかないうちに電話帳の中のデータを抜き取る不正アプリが横行していると言われていています。信頼性に疑義のあるアプリを気軽にインストールして個人情報を流出させてしまわないようにご注意ください。Android 端末にはスマートフォン用のセキュリティ対策ソフトがありますので、ぜひ利用をご検討ください。

気になる子どもへの支援のヒントより

本の読み方がたどたどしい子



この一年を通して気になる子どもへの支援を取り上げてきました。今回は学習について考えてみたいと思います。

Cさんは本の読み方がたどたどしく、特に特殊音節の拗音（ちゃ、ちゅ、ちょ）部分でよくつまります。普段のおしゃべりにおいても、時々言い誤りがみられます。視力や聴力に問題はなく、一つ一つの音の発音はできます。どのようにCさんと関わっていけばよいのでしょうか？

Cさんはどのような部分を誤りやすいのでしょうか？

文字の読みと書きは関連しており、文字の読みで誤りやすい部分は聞きとって書く際にも誤りとして現れることが多いです。



※特殊音節の中でもどれが苦手でしょうか？

拗音（例：やゅよ）、撥音（例：ん）、促音（例：っ）、長音（例：そうだん）、拗撥音（例：ちゃん）、促音（例：いっしよ）、拗長音（例：しょう）

※どんなことばを言い誤りますか？どんな誤り方でしょうか？

ことばの中での音の入れ替わり（例：エレベーター→エベレーター）、似ている音への言い誤り（例：ラッパ→ダッパ）、知っていることばへの言いかえ・・・など。

文字の読み書きのつまずきの背景には、ことばを音に分けたり抜き出したりすることの困難さが考えられます。Cさんはそこに弱さがみられ、特に文字と音の対応関係がわかりにくいようです。

支援の手だてとして以下のことが考えられます

音を視覚的にわかりやすく示し、文字単位だけではなく単語として練習する方法があります。

- ① 長音：音の伸びている部分にどの文字が入るかを書いて考える練習。
（例：ふ○せん→ふうせん、せんべ○→せんべい）
- ② 拗音：音をベースにして対応する文字を考える練習。
（例：きゅうりのイラストを示し、○ゅうり→「き」「し」「ち」を選択肢にする。）
- ③ 促音：ことばを音に分ける練習をし、音のない促音の部分を手拍子で取る方法や、手を「グー」にする方法。

子どもの特性を見てそれに合わせた指導を考えていくことで、子どものできることが増え、達成感や自信につながっていくといいですね。

参考：『気になる子どもへの支援のヒント－相談事例集－』 p 36, 37, 54, 55

大阪府教育研究所連盟 教育相談部会編 豊中市教育センター平成21年(2009年)3月発行